

○太田委員 ありがとうございます。

ただ、園田政務官、全国的ながん基本計画の対策ということはわかります。このワーキンググループの中の取りまとめにもあるように、放射線による影響が十年後以降から顕在化する可能性がある、だからこそ全国でがんの死亡率が最も低い県にするんだということが書かれているわけですから、その対策を、福島県の対策として別建てでぜひしていただきたいということを強くお願い申し上げさせていだきたいと思えます。

今回のこの原発事故によって、福島県の全体のがんの死亡率が一人でもふえることは私はあってはならないと思っています。何としてでもこれは避けなければなりません。福島県を日本で一番の健康の県にするというこのメッセージを国が政策目標として掲げていただければ、それがどんなに県民の皆さんにとって希望となるか。本当にこのことは、ぜひ検討を早急に進めていただきたいということを切にお願い申し上げさせていだきたいというふうに思えます。

次に移りたいと思えます。

この特措法の基本理念の中にも、安心して暮らし、子どもを生み、育てることができる環境を実現するとともに、直面する課題については多様な住民の意見を尊重しつつ解決するということが明記されております。そのためには、国はこの一年間、健康管理調査とか、フィルムバッジを貸したりとか、サマーキャンプの実施など、いろいろな事業を行ってきたと思えます。

しかし、それらの施策を講じて、事故から一年たった今も、放射能の不安を取り除くことができていないという現状でございます。朝日新聞の世論調査は、いまだ約八割の方が放射能の不安というものを訴えておりました。

チェルノブイリ事故の際には、汚染されたミルクや食料をとっていた子供たちの間で、事故後五年ぐらいたって甲状腺がんが多く発症したという事例があります。福島県の場合はそこまでのレベルの被曝ではないということが言われていて、私もそう信じたいというふうに思いますが、子を持つ親としては不安で不安でいっぱいなんです。

その現状を踏まえて、今私が住んでいる郡山市では、小中学生が、給食の牛乳を約五%の方が辞退しているという現状もあるんです。やはりこういう親御さんたちの不安というものをしっかり理解していかなければならないと思っておりますし、私は、もし万々が一でも甲状腺がんになっても、すぐに駆けつけられるというようなこと、少しでも安心できるという体制を今からつくっていくべきではないかというふうに思っております。

そこで、厚生労働省の方にお尋ねをしたいんですけども、〇七年に策定されたがん基本計画に基づき、二〇一二年からのがん対策推進基本計画の中では、初めて小児がんについて力を入れた方針になっておりました。小児がん拠点病院を指定し、専門家による集学的医療の提供、患者と家族に対する心理社会的な支援、適切な療育、教育環境の提供等々対策を整備するなどとした方針が出されておりましたが、この拠点病院をぜひ福島県に持ってきていただきたい、私はそういうふうに思っております。少しでも、子を持つ親御さんたちに安心を与えていきたいというふうに思えますので、ぜひ前向きな答弁をお願いしたいと思えます。

○辻副大臣 御指摘をいただきました小児がんは、依然として小児の病死原因の第一位でございます、これまでのがん対策でも政策的におくれているところがございまして、三月一日のがん対策推進協議会によるがん対策推進基本計画変更案に重点課題として取り上げていただいているところでもございます。

具体的には、我が国で死亡率が上昇している女性のがんへの対策、就労に関する問題への対応、働く世代の検診受診率の向上、小児がん対策等への取り組みを推進するという形で新たに掲げているところでございます。

この中で、御指摘いただきました小児がん拠点病院についてでありますけれども、これにつきましては、平成二十四年度より指定を開始する予定でありまして、平成二十四年度予算案におきましても、小児がん拠点病院の機能強化ということで四億円を計上させていただいているところでございます。

そして、小児がん医療の質の充実を図るために、小児がん患者とその家族が安心して適切な医療や支援を受けていただけるような、まさに委員がおっしゃったような環境を整備するように目指していきたい、このように考えているところでございます。

そして、全国に複数指定することを予定しております小児がん拠点病院につきましては、今後、検討会を早急に立ち上げて、拠点病院の要件を策定することとしているところでございまして、福島県の病院につきましても、要件が満たされれば当然その候補になるものと考えているところでございます。

このようなことも含めまして、今後とも、大変重要な大きな課題である小児がん対策の推進に向けて取り組んでいきたいと考えております。

○太田委員 ありがとうございます。

これから要件を定めて決めていくということでございますが、私たちもその要件をできるだけ満たせるような環境をつくっていかねばいけないというふうに思っておりますので、ぜひ、この小児がんの拠点を福島県に一つでも持ってきていただきたいということをお願い申し上げさせていただきます。ありがとうございます。(以下略)